

一般質問



白石 議員

一、西九州自動車道と松浦市について
二、松浦市の予算の使われ方について

質問

一、(1)西九州自動車道の完成時期はいつ頃か。その進捗状況はどうか。
(2)完成により本市に何がもたらされ、また何をもたらすようにするのか。
(3)ストロー現象を起こさせないよう、IC（インターチェンジ）周辺を魅力ある地域に変身させる必要があると思うが、どんな考えをお持ちか。
(4)今福地域は、子育てに適した良い住環境ゾーンをつくる要素があり、整備するべきではないか。風光明媚な鷹島には、今福ICを利用してフェリーで渡り終日過ごせる、モンゴル楽園をつくるべきではないか。調川ハーブIC周辺は、魚市場を有する水産資源の物流基地として、調川港湾を松浦国際貿易港に包含して整備をすべきではないか。本市は田舎にしかないものを生かしたまちづくりをすべきだと思うがどうか。
二、(1)予算の翌年繰越の原因は何か。その解消を図ろうとは思わないのか。
(2)21年度決算総額269億円は、市民と企業に還元されたのか。地元業者への工事の発注は、市民の雇用を促進し、購買力を向上させ、経済、物流を活発化し地域振興を図ることにつながると思うが、市長の考えはどうか。

答弁

一、(1)唐津く北波多IC間が23年度に開通予定、北波多く谷口IC間と山代く今福IC間が26年度に、今福く松浦IC間が28年度以降の供用開始を目標としています。松浦く佐々間は事業化の目途がたっていません。
(2)地域住民の利便性、快適性、地域の活性化、産業活動の活発化が期待でき、地域の資源のPRによって地域の活性化につなげてまいりたい。
(3)地域の豊富な資源、食材を生かしたグルメタウンの整備、体験型教育旅行事業等、地域ごとの特色を生かしたまちづくりを進めたい。
(4)ご提案を参考にし、それぞれのまちの活性化と元気なまちづくりに向けて具体的な計画を立て、取り組んでまいりたい。
二、(1)国の補正予算に伴う地域活性化臨時交付金等が年度末の歳入受け入れとなったことから、工事などの事業は次年度に執行する繰越事業となったものです。
(2)工事の発注は、場合によってベンチャーを組んで頂いて、物品も分割して発注するよう指導しています。また元請の建設業者には地元業者への下請も申し入れるなど、地元を最優先に対応してまいりたいと考えております。

一般質問



安江 議員

一、中央診療所存続について
二、就学援助について

質問

一、(1)公営断念は、松浦市総合計画に関わった住民の総意の否定にならないのか。また、総合計画と矛盾していないのか。
(2)新臨床研修制度のために医師確保が困難な時だが、認識はどうか。
(3)臨床医数は、松浦市でどうか。
(4)公立医療機関の果たす役割として、予防の観点からどう考えているか。また、救急医療を守る点ではどう考えているか。
(5)原子力防災面での中央診療所の役割はどうなっているのか。
(6)もし民間に移行した場合、原子力防災初期医療機関として、防災訓練への参加や緊急時の役割が果たせると考えるのか。
(7)混合診療が全面解禁されようとしているが、どう考えているか。
二、(1)就学援助の認定には、民生委員の関与は削除されているがどうか。
(2)就学援助のパンフレットの訂正と理解してよいのか。
(3)収入基準は目安とあるが、一昨年の申請では収入が基準を超えているので駄目と却下された。今後はそのようなことがないようにしてもらいたいがどうか。

答弁

一、(1)全体的なまちづくりについて検証及び検討をし、公営での運営を断念したことにご理解を頂きたい。また、今後どのような形で移行させるかの道筋を立て、説明責任を果たしていきたいと考えています。
(2)大学病院も大きな影響を受けており、中央診療所の医師の確保はやむを得ず断念する決断をしました。
(3)千人当たり1・17人です。
(4)重要な役割の一つと考え、健康講座の取り組みと救急医療体制の確立を目指しているところです。
(5)被曝患者の初期医療及び二次被曝医療機関への搬送の判断や手配を行うという役割を担っております。
(6)県の緊急被曝医療マニュアルは、民間の医療機関を想定しておりますので、県に対し、見直しをお願いしてまいりたいと考えております。
(7)保険診療の見直しや患者が医療を求めて大規模な病院に流れるという問題が今のところ考えられません。
二、(1)改正に伴い廃止しています。
(2)改善すべき箇所は改めます。
(3)個々の状況を勘案し、精査をして認定していきます。